

RTC-59(58) Firm Ware Version 変更履歴

ご利用中ユーザーのファームウェア・バージョンアップは、千代込み¥1K で CPU を交換します。

1. 先行頒布版リリース Version1.00 (2013.7.27)
2. Version1.01 (2013.8.5)
Over run 事前停止 (K1**コマンド) の設定範囲の 1~9 を 01~99 に拡大した。
3. Version1.02 (2013.8.19)
 - (1) Rotator が回転中に Manual-Switch または L,R コマンドで逆回転にした時の逆回転開始遅延時間を設定できるようにコマンド(K6*)を追加した。Default1 秒。設定範囲は 1~9 秒
 - (2) Software Limit Switch の機能変更
今後の Rotator-Controller を全く使わない場合の方位角校正等のために機能の変更
Ver1.01 以前: OFF の時は、CW 回転時の Software Limit Switch を無効にする
Ver1.02 以降: OFF の時は、CW, CCW 回転ともに Software Limit Switch を無効にする
4. Version1.03 (2013.9.15)
 - (1) Rotator が回転中にMコマンドでも逆回転可能にした。
遅延時間は Manual-Switch、L,R コマンドと同じ。
 - (2) 設定情報を持つ EEPROM の内容を初期化(出荷時に戻す)する「K0」コマンドの変更
~~90 度毎の方位角データだけは、初期化は行わないように変更した。これにより動作条件の初期化を行った後の、方位角の再校正を不要にした。~~
[2013.10.10] 方位電圧が加わっていない状態で、方位電圧の校正をしたため戻せない方が出たので、全ての設定データを初期化するように戻しました。
5. Version1.04 (2013.11.06) (2014.1.1 リリース終了)
CD の Rotator-Controller を改造して方位電圧を+5~0v にした場合に方位電圧の位相反転をコマンド(K7*)で可能にした特殊 Version です。自分で改造した方への専用 Version です。
CW 方向に回転したとき、電圧が増える場合: K70、電圧が小さくなる場合: K71
6. Version 1.05、Version1.10 (2014.1.17)
 - (1) North/South-Center 切替機能の追加 (Version 1.05)
一部の Yaesu-Rotator の User から要望があり、切替を可能とした (ZS、ZN コマンドの追加)
 - (2) エミュレートする機器の追加 (Version 1.10)
古い機種 of Yaesu の GS-232A、232、23 のエミュレートもコマンド切替で可能とした。
Yaesu の GS-232B に対応していない古いロギングソフト等でも動作する可能性があります。
(ZA、ZB コマンドの追加) これらの機能追加に併せて、液晶表示や Program 全体の見直し変更を行った。
7. Version1.11 (2014.2.15)
機能変更なし。方位角の読み取りを割込み処理の外に変更しました。タイマー割り込みは

時間管理だけにしたので、I2C の BUS 競合がなくなりました。他の I2C 対応の物を接続する事が可能になったので I2C 対応の LCD も接続できるようになりました。基板 Ver1.3 から、この Program を入れて頒布します。

8. Version2.1 (2015.12.18)

液晶表示を I2C 対応の LCD に変更しました。併せて外部制御を 4 から8項目に増やしました。基本機能は Ver1.1 以降、変更なしです。